

提出書類一覧表（実務者研修受講資金）

貸付後の返還猶予申請については、貸付決定通知の案内を参照のうえ、申請してください。

返還猶予中は、御自身の状況に応じて、該当の書類を期限までに提出してください。

状況	提出書類
<p>ア 研修修了年度を含め3年以内に資格を取得し、福岡県内で介護業務（以下、「対象業務」という。）に従事中である。</p> <p>資格取得後、本会に届出を行った。</p> <p>その時の従事先から変更はない。</p>	<p>①現況届（第28号）</p> <p>※従事先の押印（公印）が必要。</p> <p>※休職期間がある場合は、次頁「エ」の書類も提出すること。なお、休職期間（休職開始月の1日から休職終了月の月末まで）は、免除要件期間として算定しない。</p>
<p>イ 研修修了年度を含め3年以内に資格を取得し、福岡県内で対象業務に従事中である。</p> <p>資格取得後、本会に届出を行った。</p> <p>その時の従事先を退職し、退職した翌月から福岡県内で対象業務に再就職し、従事中であるが、本会に変更届出を行っていない。</p>	<p>①返還猶予申請書（第14号／申請理由「3」） …返還猶予申請期間は、《再就職した月の1日》から《資格登録月又は従事開始月のいずれか遅い月から起算して2年後の月末》まで</p> <p>②業務従事先変更届（第25号）</p> <p>③在職証明書その2（第31号／退職した従事先から取得）</p> <p>④在職証明書その1（第30号／再就職先から取得）</p> <p>※③④は従事先の押印（公印）が必要</p> <p>※休職期間がある場合は、次頁「エ」の書類も提出すること。なお、休職期間（休職開始月の1日から休職終了月の月末まで）は、免除要件期間として算定しない。</p>
<p>ウ 研修修了年度を含め3年以内に資格を取得し、福岡県内で対象業務に従事中である。</p> <p>資格取得後、本会に届出を行った。</p> <p>その時の従事先を退職したが、本会に届出を行っていない。</p> <p>現在求職活動中であり、1年以内に福岡県内で対象業務に再就職予定である。</p>	<p>①返還猶予申請書（第14号／申請理由「8」（ ）内に「対象業務に求職活動中のため」と記入） …返還猶予申請期間は、《退職した月の翌月1日》から《1年後の月末》まで</p> <p>②退職届（第26号）</p> <p>③在職証明書その2（第31号）</p> <p>※③は従事先の押印（公印）が必要</p> <p>※休職期間がある場合は、「休職、復職、停職届（第29号）」も提出すること。なお、休職期間（休職開始月の1日から休職終了月の月末まで）は、免除要件期間として算定しない。</p> <p>※1年以内に福岡県内で対象業務に再就職できなかった場合は返還となるため、その際は、まず本会に連絡すること。</p>

状況	提出書類
エ 研修修了年度を含め３年以内に資格を取得し、福岡県内で対象業務に従事しているが、休職期間が生じた。	<p>【休職中の場合】</p> <p>前頁「ア」又は「イ」の書類に加え、</p> <p>①休職、復職、停職届（第 29 号）</p> <p>【休職し、復職済みの場合】</p> <p>前頁「ア」又は「イ」の書類に加え、</p> <p>①休職、復職、停職届（第 29 号）</p> <p>②返還猶予申請書（第 14 号／申請理由「3」）</p> <p>…返還猶予申請期間は、《休職が終了した月の翌月 1 日》から《免除要件期間を満たす月の月末》まで</p> <p>※①は従事先の押印（公印）が必要</p>
オ 福岡県内で対象業務に従事していない	<p>返還手続きとなります。</p> <p>まず、本会に御連絡ください。</p>
カ 受験要件（実務経験）を満たすために、介護業務に従事中である。 前回届け出た従事状況から変更はなく、初回受験年度も変更ない。	<p>①現況届（第 28 号）</p> <p>※従事先の押印（公印）が必要。</p>
キ 受験要件（実務経験）を満たすために、介護業務に従事していたが退職した。 介護業務に再就職し、初回受験年度も変更ないが、従事先変更等の届け出を行っていない。	<p>①返還猶予申請書（第 14 号／申請理由「6」）</p> <p>…返還猶予申請期間は、《退職した月の翌月 1 日》から《初回受験予定の年度末》まで</p> <p>②業務従事先変更届（第 25 号）</p> <p>③在職証明書その 2（第 31 号／退職した従事先から取得）</p> <p>④在職証明書その 1（第 30 号／再就職先から取得）</p> <p>※③④は従事先の押印（公印）が必要</p>
ク 受験要件（実務経験）を満たすために、介護業務に従事していたが退職した。 返還猶予申請時に届け出た初回受験年度に受験しない（実務経験を満たしたが、届け出た初回受験年度に受験しない）。	<p>返還手続きとなります。</p> <p>まず、本会に御連絡ください。</p>

【令和元年度以前の契約者／猶予中の提出書類】

状況	提出書類
<p>ケ 研修修了年度には、受験要件（実務経験）を満たしていなかったため受験できなかったが、その後、受験要件を満たし、受験した。</p> <p>介護福祉士資格を取得し、福岡県内で対象業務に従事中である。</p> <p>資格取得後、本会に届出を行っていない。</p>	<p>①返還猶予申請書（第 14 号／申請理由「3」）</p> <p>…返還猶予申請期間は、</p> <p>《現在の返還猶予が終了した月の翌月 1 日》から</p> <p>《資格登録月又は従事開始月のいずれか遅い月から起算して 2 年後の月末》まで</p> <p>②業務従事届（第 24 号）</p> <p>③在職証明書その 1（第 30 号）</p> <p>④国家資格登録証のコピー</p> <p>※③は従事先の押印（公印）が必要</p> <p>※次年度からは、「ア」から「オ」のうち該当する届出が必要。</p>
<p>コ 研修修了年度には、受験要件（実務経験）を満たしていなかったため受験できなかったが、その後、受験要件を満たし受験した結果、不合格であった。</p> <p>翌年度も受験予定である。</p>	<p>①返還猶予申請書（第 14 号／申請理由「5」）</p> <p>…返還猶予申請期間は、</p> <p>《現在の返還猶予が終了した月の翌月 1 日》から</p> <p>《翌年度末（翌年の 3 月 31 日）》まで</p> <p>②受験したことがわかる書類（不合格通知コピー等）</p> <p>※受験しなかった場合は返還となるため、その際は、まず本会に連絡すること。</p> <p>※翌年度も不合格で、翌々年度も受験する場合は、同様にこの届出を行うこと。ただし、翌々年度も不合格の場合は、返還となるため、その際は、まず本会に連絡すること。</p>
<p>サ 借受人・連帯保証人の住所・氏名に変更があった場合</p>	<p>①住所、氏名変更届（第 21 号）</p> <p>②住民票など変更事項を証明する書類</p>

【 返還免除（当然免除）手続き 】

状況	提出書類
<p>シ 介護福祉士資格を取得し、福岡県内で対象業務に免除要件期間（2 年以上）従事した。</p>	<p>①返還当然免除事実発生届（第 17 号／申請理由「1」）</p> <p>②在職証明書その 1（第 30 号）</p> <p>③国家資格登録証のコピー</p> <p>※②は従事先の押印（公印）が必要</p> <p>※免除要件期間を満たした後に退職した場合は、①と在職証明書その 2（第 31 号）、③を提出</p> <p>※休職期間が生じた場合は、休職、復職、停職届（第 29 号）も提出すること。休職期間（休職開始月の 1 日から休職終了月の月末まで）は、免除要件期間として算定しない。</p>